

北海道総合計画の普及に係る取組状況

1 北海道総合計画出前講座

(1) 目的

多くの道民の皆様へ、「北海道総合計画」への理解を深めていただくを通じ、北海道の現状・課題や政策について知っていただくとともに、北海道の将来や未来の地域づくりなどについて考え、ともに行動する機会としていただくことを目的として実施。

(2) 実施内容

- ・申し込みに応じて実施し、内容は申込者の希望に応じ調整
- ・北海道総合計画の解説のほか、計画に基づく具体的な道の取組（事業）の紹介や、計画に掲げる「7つの将来像」の実現に向けた方策を考えるワークショップなどを実施

(3) 平成29年度の実施状況・予定一覧

日程	学校・団体名	参加者数	備考
4月21日	北海道伊達高等学校	29	3年生
6月30日			
9月21日			
6月1日	北海道開発局	17	
6月26日	小樽商科大学	32	1年生ゼミ
7月10日			
7月11日	旭川工業高等専門学校 (機械システム工学科、電気情報工学科)	68	4年生
7月22日	北海道奥尻高等学校	48	全校生徒
7月24日	北海道教育大学札幌校	24	1年生
7月25日	北海道教育大学函館校	137	1年生～4年生
8月23日	留萌町村会	26	
9月21日	北海道別海高等学校	72	3年生
9月27日	北海学園札幌高校	179	3年生
10月19日	檜山町村等監査委員協議会	30	
10月19日	札幌日大高校	74	1年生 ※経済部等と連携して実施
10月26日			
11月2日			
10月26日	留萌信用金庫	26	
11月4日	(公社)北海道ろうあ連盟	67	※保健福祉部と連携して実施
11月15日	北見工業大学	50	3年生
12月12日	旭川工業高等専門学校 (システム制御情報工学科、物質化学工学科)	89	4年生
12月18日	酪農学園大学	200	2年生 ※農政部と連携して実施
12月19日	稚内北星学園大学	25	
2月8日	占冠村	30	
3月予定	帯広工業高校	37	

※ 特定分野の政策展開について講義の依頼があった場合、所管部局と連携し講義を実施(札幌日大高校など)

※ 11月2日以降については予定

2 海外訪問団への対応

日程	団体名	参加者数	備考
5月24日	韓国済州特別自治道議会議員	11	
7月14日	コートジボワール政府関係者	8	JICA海外技術研修受入事業

3 市町村を通じた北海道総合計画の広報

- ・市町村に対し、広報誌等を通じた北海道総合計画の周知を依頼
- ・26市町村(6市18町2村)において、広報誌やホームページを通じた北海道総合計画の周知を実施(平成29年10月26日現在)

北海道総合計画出前講座 実施例（平成29年度）

1 北海道伊達高等学校

- (1)日 程 <前期> 平成29年4月21日、6月30日
<後期> 平成29年9月21日～

(2)出席者 29名(3年生)

(3)内 容

- ・前期は、伊達市が総合計画策定に当たって実施する伊達高校でのワークショップ(5/11、5/30、6/1)と連携し、連続講義として実施。「10年後の地域をもっとよくしよう！」をテーマに、生徒がグループで地域活性化策を検討
- ・生徒が検討した地域活性化策は、学校祭(7月)や伊達市主催のまちづくりシンポジウム(8月)において発表
- ・後期は、9月の出前講座(9/21)を踏まえ、新たに「10年後の北海道をもっとよくしよう！」をテーマにグループワークが進められており、今後、その結果が発表される予定



【学校祭での主な発表内容】

- 「Welcome to DATE」
 - ・近隣の観光地に訪れる外国人観光客を伊達市に呼び込むための四季折々のツアーを提案
- 「伊達市の認知度を上げるには～もっと伊達市を知ってもらおう～」
 - ・伊達市をPRするため、独自のゆるキャラを発案し、その活用方法について提案

2 小樽商科大学

- (1)日 程 平成29年6月26日～7月10日

(2)出席者 32名(1年生)

(3)内 容

- ・出前講座(6/26)の内容(人口減少に伴う北海道の課題)を踏まえ、その対応方策についてグループで検討し、政策提言会において発表(7/10)
- ・優秀グループ2グループに対し、計画推進担当局長から表彰



【優秀グループの主な発表内容】

- 観光から考える北海道の政策～観光客を道東・道北へ回せ～
 - ・道東・道北の観光客増加に向け、移動距離の長さを活かした高級車無料貸出によるドライブ推進等を提言
- 純道産鶏による地域農業の活性化
 - ・飼料自給率向上や耕作放棄地の解消、雇用創出に向け、道産飼料で育てたブランド鶏の国内外での販売を提言

3 北海道奥尻高等学校

- (1)日 程 平成29年7月22日

(2)出席者 48名(全校生徒)

(3)内 容

- ・北海道総合計画及び総合計画を推進する道の取組について解説
- ・地域における政策展開について解説(檜山振興局)
- ・「地域の宝とその活用策を考えよう！」をテーマにグループワークを実施



【グループワークでの主な発表内容】

- 活用する地域資源～これまであまり注目されていなかった「山」
 - ・登山ルート・展望台・キャンプ場の開設や大文字焼き、昆虫採集の実施など山を活用した観光振興を提案
- 活用する地域資源～農業被害等を引き起こしている島の「狸」(たぬき)
 - ・狸を活用した商品開発(衣類、マフラー、本物の「たぬきそば」等)による産業振興を提案

4 留萌町村会

- (1)日 程 平成29年8月23日

(2)出席者 26名(留萌管内町村新規採用職員)

(3)内 容

- ・北海道総合計画の解説
- ・総合計画と関連する地域の課題やその対策について解説(留萌振興局)